

公開文書

皮膚疾患の術後合併症に関する後方視的観察研究

はじめに

良性腫瘍、悪性腫瘍、感染症を含め様々な皮膚疾患に対して手術的な治療が必要となることがありますが、術後に感染、縫合不全、肥厚性瘢痕などの合併症を生じることがあります。しかし、各術後合併症が、どのような患者さんにどの程度生じるかという点に関して詳細な報告はありません。そこで、カルテに残されている臨床情報を用いて皮膚疾患の術後の感染、縫合不全、肥厚性瘢痕などの合併症に関して検討します。術後合併症がどの程度生じるかを明らかにすることで、より詳細な情報を患者さんに提示できるようになると考えられます。この研究は筑波大学附属病院倫理委員会の審査と承認をもとに行われております。対象者は当院で皮膚疾患（粉瘤や悪性黒色腫などの良・悪性腫瘍や慢性膿皮症などの感染症）の手術を受けた方です。

目的および方法

この研究の目的は、皮膚疾患（粉瘤や悪性黒色腫などの良・悪性腫瘍や慢性膿皮症などの感染症）の術後の感染、縫合不全、肥厚性瘢痕などの合併症を検討することです。この研究では、カルテに残されている診療記録などの臨床情報を用いて解析します。対象患者さんは2000年4月1日から2020年9月30日を予定しています。

研究期間

研究期間は倫理委員会承認後から2021年3月を予定しております。

本研究は筑波大学附属病院の倫理委員会で認められた期間に行いますが、倫理委員会で認められた期間を超える場合は、倫理委員会に期間延長を申請し、再度承認を受けることといたします。

参加したときと参加しなかったときに予想されること

この研究で得られる成果は、多くの患者さんからの情報を集計して解析し

ないと明らかにならないことが予想されます。従って、この研究で得られた結果からのあなたへの直接の利益はありません。一方で、想定される不利益もありません。

資料・情報

カルテに残されている診療記録から年齢、性別、皮膚疾患の種類、感染、縫合不全、肥厚性瘢痕などの合併症の有無などを検討します。資料・情報の第三者へは提供されません。

費用などの負担について

この研究を実施するにあたり、負担していただく費用はありませんし、負担軽減費などをお支払いすることはありません。

個人情報管理について

解析結果や臨床情報はもちろんのこと、お名前やご住所などの個人情報の保護には十分配慮いたします。個人情報は暗号化され、番号で扱われます。番号の対応表や同意書などの研究に関わる書類やデータは厳重に保管します。

研究の進行状況や発表について

研究の結果は、誰のものか判らないようにして発表される可能性があります。従って、あなたの個人情報は保護されます。この研究で新しい発見があった場合、その発見は知的財産として認められることがあります。そのときのすべての権利は研究責任者側が有することになります。

お問い合わせ

ご本人またはご家族の方で、この研究に検体を使用されることを望まれない場合や、その他詳しく説明をして貰いたいことや心配なことがあればいつでも下記にご連絡ください。

問い合わせ窓口：筑波大学医学医療系 皮膚科

郵送先：〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1

電話：029-853-3128（平日 10時から 17時まで）

ファックス：029-853-3217

電子メール：hf66tobu@md.tsukuba.ac.jp

施設研究責任者：中村 貴之